

製品安全データシート

KEMAMIDE B

作成 : 2013/7/5
改訂 : 2019/11/8

● 項目1 化学品及び会社情報

化学品の名称	ケムアマイドB
会社名	PMC Biogenix Inc.
住所	1231 Pope Street Memphis, TN 38108 USA
担当部署	環境健康安全部
担当者(作成者)	
電話番号	+1-800-641-2152
FAX番号	
メールアドレス	
緊急連絡先番号	+1-901-320-5820
販売代理店	サンケミカル株式会社
住所	東京都中央区日本橋小伝馬町2番4号 三報ビルディング
電話番号	03-3661-6681
FAX	03-3661-7055
メールアドレス	yano@sun-chemical.co.jp
HP	http://www.sun-chemical.co.jp/

推奨用途及び使用上の注意
化学中間体、潤滑剤

★ 項目2 危険有害性の要約

GHSの分類
物理化学的危険性: 分類できない
健康に対する有害性: 分類できない
環境に対する有害性: 分類できない

分類	内容
区分1~4	数字が小さい方が危険・有害性が高い。1(危険)>4(比較的安全)
区分に該当しない	数字で表示される区分より安全性が高い。
分類できない	分類に有効なデータが無く、有害なのか安全なのか、分からない。
分類対象外	この項目には無関係な製品。例えば、固体の製品では「自然発火性液体」の項目で、分類対象外になる。

● GHSのラベル要素

● 絵表示又はシンボル

● 注意喚起語 警告

● 危険有害性情報 可燃性ダストが発生するおそれ

● 注意書き

【安全対策】
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
使用前に取扱説明書を入手すること。

ダストの発生を防ぐこと。
産業衛生を遵守して安全に取り扱うこと。

【応急措置】
吸入した場合 吸入した場合、被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚に付着した場合 直ぐに多量の水で洗い流す。15分程は水で洗うこと。
眼に入った場合 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。
飲み込んだ場合 飲み込んだ場合、口をすすぐこと。
飲み込んだ場合、気分が悪い時は、医師に連絡すること。

【保管】
容器を密閉して保管すること。涼しく乾燥した場所で保管すること。

【廃棄】

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい破棄、又はリサイクルに関する情報

法令、条令に従った処分方法で処理する。

項目3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	単品
化学名又は一般名	トコサンアミド
慣用名・別名	
化学物質を特定できる一般的な番号	3061-75-4
CAS番号	
成分及び濃度又は濃度範囲(含有率)	100%
官報公示整理番号(化審法、安衛法)	2-824
GHS分類に寄与する成分	無し

▲ 項目4 応急処置

いずれの場合も医師の診断を受けること

吸入した場合	吸入した場合、被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚に付着した場合	直ぐに多量の水で洗い流す。15分程は水で洗うこと。
眼に入った場合	眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。
飲み込んだ場合	飲み込んだ場合、口をすすぐこと。 飲み込んだ場合、気分が悪い時は、医師に連絡すること。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状
詳細な徴候及び症状は、項目11-有害性情報に記載する

溶けた商品は熱傷を起こす。

応急処置をする者の保護

医師に対する特別な注意事項
対症療法

項目5 火災時の措置

職場のあんぜんサイトから引用

消火剤	周囲の消火に適した消火剤
使ってはならない消火剤	棒状放水、(火災時は火が広がる為、不適切)
火災時の措置に関する 特有の危険有害性	ダストの発生を防ぐこと。ダストは爆発性混合物を発生させる。 熱で分解すると、刺激性且つ毒性ガスの蒸気を発生させる。 消火時の残留物を下水、環境に流出させない。
特有の消火方法	データ無し
消火を行う者の特別な保護具及び予防措置	圧力耐性のある自動呼吸機器のついた呼吸の保護具。 MSHA/NIOSH認証もしくは同等品、全体を覆う保護具
危険発火物質	一酸化炭素、二酸化炭素、酸化窒素
爆発データ	
機械に対する影響	データ無し
静電気に対する影響	細かい粒子で濃度があり、発火源があると、爆発の危険

項目6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置	取扱場所では、十分な換気機能を確保すること。 密閉の場所での取扱い時に、換気機能を有すること。 ダストの発生を防ぐこと。 ダストは爆発性混合物が発生する。
環境に対する注意事項	商品は水に溶けない、水に浮く。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

ダストの発生を避ける。
こぼれた粉はプラスチックシートで被い、広がらないようにすること。
水にぬれないようにする。
適切な廃棄用ラベルの付いた容器に移すこと。
汚れた床を清掃すること。
濡れた商品は自然乾燥させること。

二次災害の防止策

▲ 項目7 取扱い及び保管上の注意
取扱い

技術的対策 (局所排気、全体換気) 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
安全取扱注意事項 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行なう。

接触回避 「10. 安定性及び反応性」を参照。
衛生対策

保管

安全な保管条件 容器を密閉して保管すること。涼しく乾燥した場所で保管すること。

近づけてはいけないもの 酸化剤

安全な保管保管包装材料 元の容器

▲ 項目8 暴露防止及び保護措置

許容濃度等

日本産業衛生学会 (2005 年版)
ACGIH (2005 年) TWA:10mg/m3 inhl TWA:3mg/m3 Resp
OSHA PEL TWA:5mg/m3 Resp TWA:15mg/m3 total

設備対策

この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。または換気を行うこと。

保護具

呼吸用保護具 曝露限界を超えた濃度や、刺激を感じた場合、NIOSH/MSHA認証の呼吸器の保護具
耐圧の呼吸器の保護具
使用場所の法令条令に適した保護具

眼の保護具 眼を覆う保護具

手の保護具 耐熱手袋
皮膚及び身体の保護具

特別な注意事項

皮膚、服に触れないように商品を取扱うこと。
商品が霧状になった場合、吸い込まないこと。
取扱時は保護具を着用すること。

項目9 物理的及び化学的性質

物理的状态 固体、ペレット、パウダー、溶状
色 白
臭い わずかにある

融点・凝固点 98~108°C
沸点又は初留点及び沸騰範囲 >315°C
可燃性

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 データ無し
引火点 215°C
自然発火点 データ無し
分解温度 データ無し

pH	データ無し
動粘性率	データ無し
溶解度	データ無し
n-オクタノール/水分配係数(Log値)	データ無し
蒸気圧	データ無し
密度及び/又は相対密度	データ無し
相対ガス密度	データ無し
粒子特性	データ無し
その他のデータ	

● 項目10 安定性及び反応性

反応性

化学的安定性	通常の管理下では安定。
危険有害反応可能性	通常の使用では危険有害反応はない。
避けるべき条件 (静電放電、衝撃、振動など)	ダストの発生を防ぐこと。 直射日光、熱。
混触危険物質	強酸化剤
危険有害な分解生成物 その他	一酸化炭素、二酸化炭素、酸化窒素

★ 項目11 有害情報

急性毒性	LD50 > 10,000mg/kg
皮膚腐食性/皮膚刺激性	皮膚に刺激は無い
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	データ無し
呼吸器感作性又は皮膚感作性	データ無し
生殖細胞変異原性	データ無し
発がん性	データ無し
生殖毒性	データ無し
特定標的臓器毒性、単回曝露	データ無し
特定標的臓器毒性、反復曝露	データ無し
誤嚥有害性	データ無し

項目12 環境毒性情報

生態毒性	データ無し
残留性・分解性	データ無し
生態蓄積性	蓄積の可能性は低い

土壤中の移動性
データ無し

オゾン層への有害性
データ無し

他の有害影響

▲ 項目13 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい破棄、又はリサイクルに関する情報

法令、条令に従った処分方法で処理する。

項目14 輸送上の注意

国際規制 国連番号 品名(国連輸送名)	非該当 非該当
国連分類 (輸送における危険有害性クラス)	非該当
容器等級 海洋汚染物質 (該当・非該当)	非該当 非該当
MARPOL73/78附属書Ⅱ及び IBCコードによるばら積み輸送される液体物質 (該当・非該当)	非該当
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	
国内規制がある場合の規制情報	非該当
その他 応急措置指針番号	非該当

項目15 適用法令

該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

化管法	非該当
安衛法	通知・表示対象物質 非該当
毒劇法	非該当
火薬類取締法	非該当
高圧ガス保安法	該当なし
消防法	非該当
化審法	既存化学物質
船舶安全法	非該当
航空法	非該当
外為法	キャッチオール規制

項目16 その他の情報

安全上重要であるが、これまでの項目名に直接関係しない情報
引用文献

オリジナルMSDS
独立行政法人 製品評価技術基盤機構 NITE

注意:

- ・危険有害性の評価はかならずしも十分ではないので、取扱いには十分注意して下さい。
- ・この製品安全データシートは、当社の製品を適切にご使用いただくために必要で、注意しなければならない事項を簡潔にまとめたもので、通常の取扱いを対象としたものです。
- ・本製品は、この製品安全データシートをご参照の上、使用者の責任において適正に取り扱ってください。
- ・ここに記載された内容は、現時点で入手できた情報やメーカー所有の知見によるものですが、これらのデータや評価は、いかなる保障もするものではありません。また法令の改正及び新しい知見に基づいて改訂されることがあります。

赤字	必須情報	★	リスクアセスメント必須事項
青字	可能なら記載する情報	●	ラベルに記載する情報
黒字	無くても良い情報	▲	安衛法ラベルの注意書きの項目
色分け	2019年改正JIS Z7252/Z7253		(但し、ラベルに全て載せる必要はない)